

# 中国金融経済動向データ月報

## D. 産業・地域経済編

2011年8月25日

みずほ総合研究所

理事 桑田 良望

(TEL: 03 - 3591 - 1189) (FAX: 03 - 3591 - 1399)

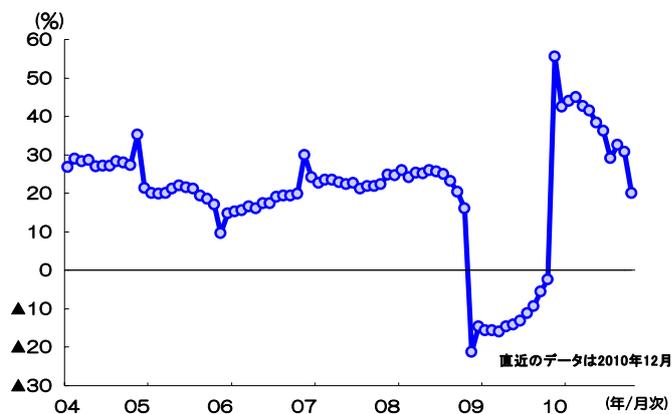
(E-mail: [yoshimochi.kuwata@mizuho-ri.co.jp](mailto:yoshimochi.kuwata@mizuho-ri.co.jp))

1. データ更新基準：毎月入手可能データを極力入力してあります。  
更新データは、目次に\*印を付けてあります。
2. データ種類：月次、四半期、半年、年次のデータがあります。
3. 当月更新コメントは、赤フォントで表示してあります。

図 D-01	工業企業売上伸率（前年比）	1
図 D-02	工業企業株主資本伸率（前年比）	1
図 D-03	工業企業資産／負債比率（月次）	1
図 D-04	工業企業売上原価利益率（月次）	2
図 D-05	地域別一人当り GDP の格差（2010 年）	2
図 D-06	電話・インターネットの加入者数推移（年次）	2
図 D-07	エアコンの生産台数と輸出比率推移（年次）	3
図 D-08	鉄鋼の生産高と輸入比率推移（年次）	3
図 D-09	エチレンの生産高と輸入比率推移（年次）	3
図 D-10	ファックスの生産台数と輸出比率推移（年次）	4
図 D-11	冷蔵庫の生産台数と輸出比率推移（年次）	4
図 D-12	カラーテレビの生産台数と輸出比率推移（年次）	4
図 D-13	複写機の生産台数と輸出比率推移（年次）	5
図 D-14	パソコンの生産台数と輸出比率推移（年次）	5
図 D-15	自動車の生産台数と輸入車の比率推移（年次）	5
図 D-16	工業企業の地域別収益状況（2010 年）*	6
図 D-17	加工貿易輸出推移（来料）（月次）*	6
図 D-18	加工貿易輸出推移（進料）（月次）*	6
図 D-19	加工貿易輸入推移（来料）（月次）*	7
図 D-20	加工貿易輸入推移（進料）（月次）*	7
図 D-21	衣料の輸出額推移（月次）*	7
図 D-22	乗用車の輸入推移（月次）*	8
図 D-23	深圳市の輸出入額推移（月次）*	8
図 D-24	上海市の輸出入額推移（月次）*	8

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、商品の勧誘を目的としたものではありません。  
 本資料は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることがあります。

図 D-01 工業企業売上伸率（前年比）

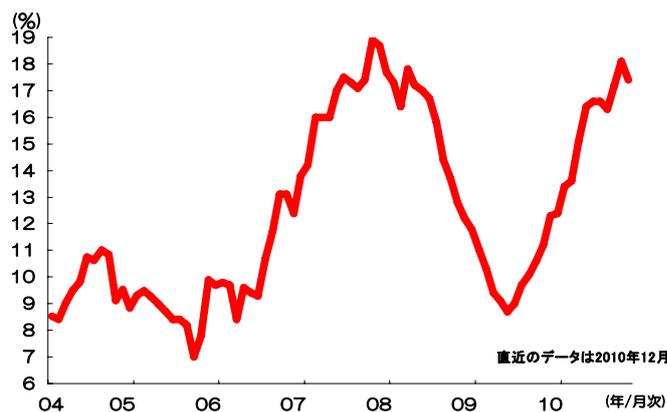


（資料）『中国人民銀行統計季報』「5千社企業データ」

#### D-01 工業企業売上伸率は回復へ

図 D-01～D04 は、『中国人民銀行統計季報』にもとづき作成。人民銀行は月次で財務諸表調査、四半期ベースで景況観調査を実施中。サンプル企業は 27 業種の大中型工業企業で、外資系企業、株式制企業も含まれ、相応の代表性を有するデータとされている。09 年は売上高の前年同月比伸率はマイナスとなったが、10 年 1 月からプラスに転じる。12 月は 20.0%の伸び。

図 D-02 工業企業株主資本伸率（前年比）

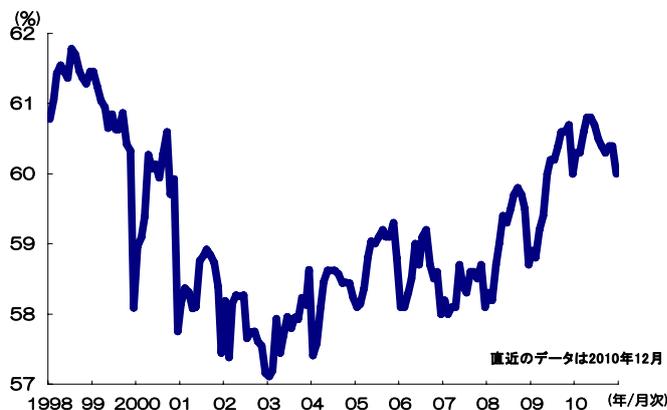


（資料）『中国人民銀行統計季報』「5千社企業データ」

#### D-02 株主資本の伸びも回復へ

このサンプル調査では当初 5 千社の企業が対象であったが、2000 年 12 月より大型企業 200 社が追加された。そのため 00 年末から株主資本が増加したと見られる。しかし 07 年 12 月をピークに伸率は鈍化、09 年 6 月末の株主資本の前年同期比伸率は 9.1%まで低下した。09 年 12 月末の前年比伸率は 11.1%、10 年 12 月末は 17.4%まで増加。

図 D-03 工業企業資産／負債比率（月次）



（資料）『中国人民銀行統計季報』「5千社企業データ」

#### D-03 負債比率は上昇へ

総資産に対する負債の比率は、2003 年からは上昇傾向にある。銀行貸出の積極化、金融緩和の影響か。09 年 5 月以降は 60%を超えており、09 年 9 月末の負債比率（負債／資産）は 60.6%、12 月末は 60.0%。10 年は 3 月末が 60.6%、6 月末は 60.7%、9 月末は 60.3%、12 月末が 60.0%と安定推移中。

図 D-04 工業企業売上原価利益率（月次）

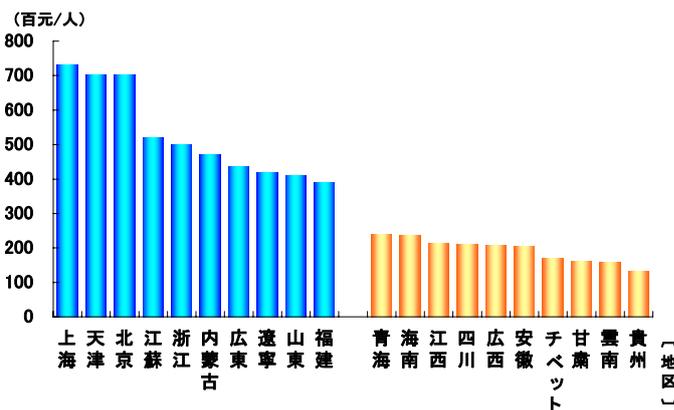


(資料) 『中国人民銀行統計季報』「5千社企業データ」

D-04 売上原価利益率も回復へ

1999年から売上原価に対する利益率は改善し全体的には企業収益は上向き、03年以降は好調に推移した。しかし08年9月は8.2%と前年同期より2.0ポイント低下した。08年9月以降の鋼材、ガラスなどの工業製品の価格の急落で赤字に陥った企業が多数発生との報道もある。09年は2月が4.5%と最低、12月は7.3%まで回復。10年は6月が8.9%と世界金融危機前のレベルに回復。12月末も8.6%と安定。

図 D-05 地域別一人当たり GDP の格差（2010年）

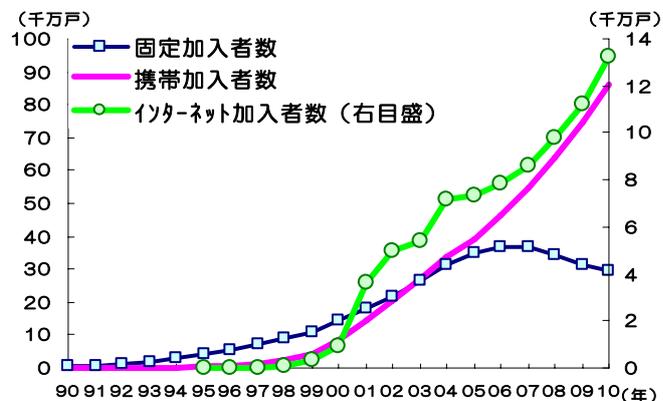


(資料) 『中国統計摘要 2011』

D-05 大きい地域格差

2010年の一人当たりGDPの上位10地域と下位10地域を並べたもの。上位は上海、天津、北京、江蘇、浙江、内モンゴ、広東、遼寧の順で沿海地区と資源のある地域に集中。最下位は貴州、甘肅、雲南、チベットなど西部少数民族地区がほとんど。一人当たりGDPの国家统计局発表の地域別GDPと2010年人口センサスの各地常住人口にもとづき算出。

図 D-06 電話・インターネットの加入者数推移（年次）

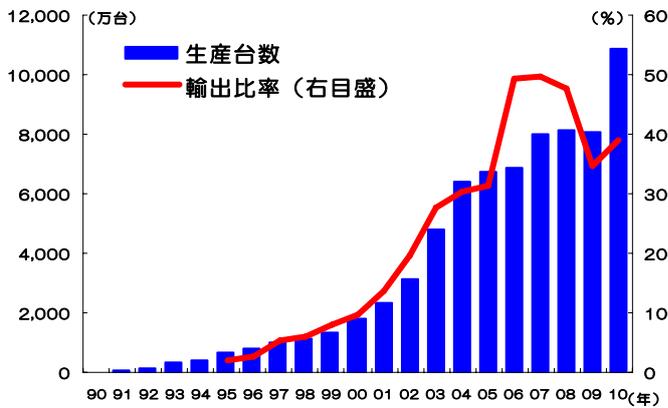


(資料) 工業情報化部統計

D-06 急増する携帯加入者数

2010年末の固定電話加入者数は2億9,438万戸(年間1,935万戸減少)、携帯加入者数は8億5,900万戸(年間1億1,179万戸増加)に達する。携帯加入者のうち3G利用者の合計は4,705万人に。インターネット加入者数は1億3,222.4万戸。携帯普及率は100人当たり64.6台(前年が56.3台)となる。

図 D-07 エアコンの生産台数と輸出比率推移（年次）

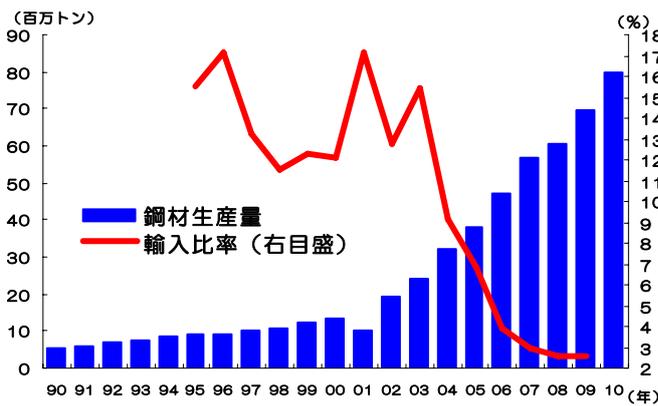


(資料) 中国国家統計局資料、『海関統計』『中国統計摘要』

### D-07 エアコンも普及中

エアコンの普及に伴い生産台数は2007年まで急増したが、その後は横ばい。07年の生産台数8,014万台に対し08年は8,230万台、09年は8,078万台(前年比▲1.9%)と減少。10年は10,899.6台と前年比では34.9%増加。輸出は09年が2,807万台(生産台数の34.8%、輸出伸率は▲27.5%)、10年が4,269万台(生産台数の39.17%、伸率52.1%)。

図 D-08 鋼材の生産高と輸入比率推移（年次）

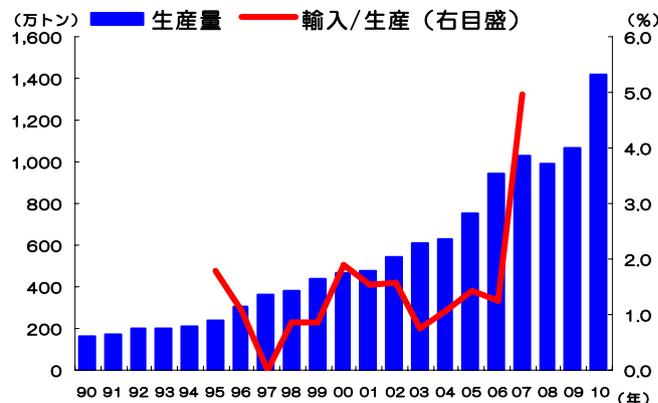


(資料) 中国国家統計局資料、『海関統計』『中国統計摘要』

### D-08 鉄鋼の生産大国

2003年の鋼材生産高は2億4,108万トンだが鋼材輸入が3,717万トンと大量に発生した。04年は3億1,976万トン、05年3億7,771万トン、06年4億6,893万トン、07年5億6,894万トン、08年は5億8,488万トン、09年は6億9,626万トン、10年は7億9,776万トン(前年比14.92%増)。10年の輸入は1,643万トン(前年比6.8%減)、輸出は4,256万トン(前年比73.0%増)。外需は減少から拡大に転換。

図 D-09 エチレンの生産高と輸入比率推移（年次）

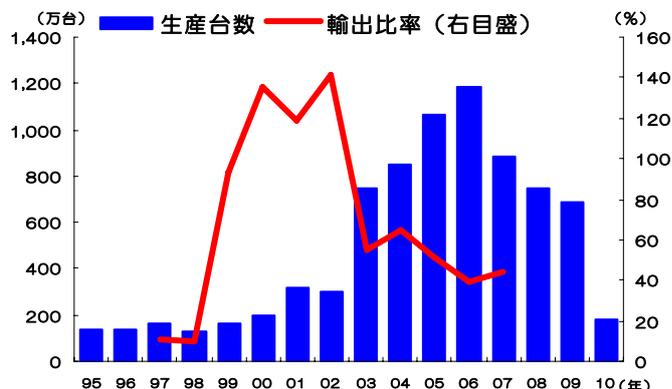


(資料) 中国国家統計局資料、『中国商務年鑑』『中国統計摘要』

### D-09 国内需要をまかなう生産

2003年のエチレンの生産高は611.8万トン。ほぼ国内で供給できる体制に。一方スチレンなどの化学品は大量に輸入している。06年は940.5万トン。07年は1,047.7万トンまで拡大した。08年は998.3万トンで前年比4.7%減、09年は1,066.3万トンで前年比6.8%増加。10年は1,418.9万トンで前年比32.3%増加した。

図 D-10 ファックスの生産台数と輸出比率推移（年次）

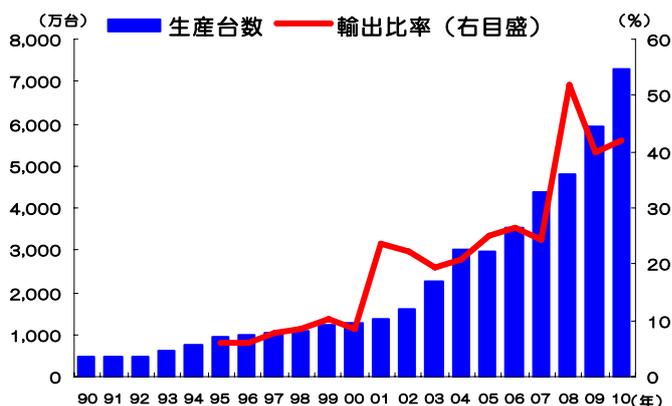


(資料) 中国国家統計局資料、『海関統計』『中国統計摘要』

#### D-10 ファックスの生産・輸出が急増

中国の統計では、ファックスの国内生産台数以上に輸出台数があった。ただし 2003 年以降のデータは正常であろう。生産台数は 04 年が 851.2 万台、05 年が 1,067.9 万台、06 年は 1,188.6 万台と増加。07 年は 888.5 万台と減少に転じ、08 年 749.4 万台、09 年 683.5 万台、10 年は 176.9 万台に激減。インターネット普及でファクシミリ需要の減退か。

図 D-11 冷蔵庫の生産台数と輸出比率推移（年次）

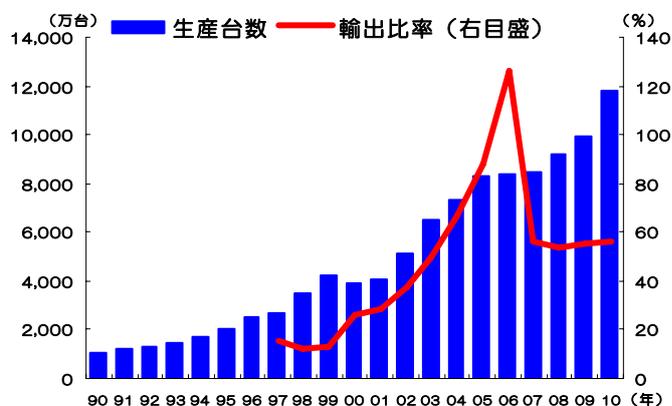


(資料) 中国国家統計局資料、『海関統計』『中国統計摘要』

#### D-11 冷蔵庫の生産が急増

家庭用冷蔵庫の生産台数は 2005 年が 2,985.8 万台、06 年 3,530.9 万台、07 年 4,397.1 万台、08 年が 4,756.9 万台（前年比 8.2%増加）と比較的順調に増加。09 年は 5,930.5 万台で前年比 24.7%と急増。家電購入に対する政府補助金の政策効果が顕著。10 年は 7,300.8 万台で 23.1%増加。10 年の輸出は 3,066 万台で生産台数の 42%に相当。

図 D-12 カラーテレビの生産台数と輸出比率推移（年次）

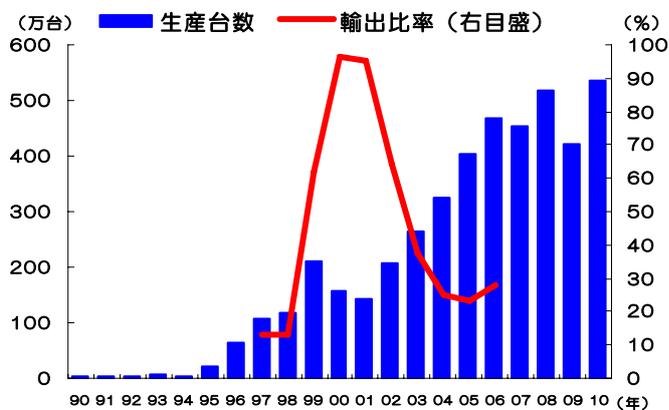


(資料) 『中国統計年鑑』『中国商務年鑑』『中国統計摘要』

#### D-12 カラーテレビは供給過剰

カラーテレビの生産は 06 年が 8,375 万台、07 年 8,433 万台、08 年 9,033 万台。09 年は 9,899 万台（前年比 9.6%増）、10 年は 11,830 万台（19.5%増）（うち液晶テレビが 8937.5 万台）。なお輸出は 10 年が 6,628 万台（148.3 億米ドル）と台数で 21.4%、金額で 38.1%増加。

図 D-13 複写機の生産台数と輸出比率推移（年次）

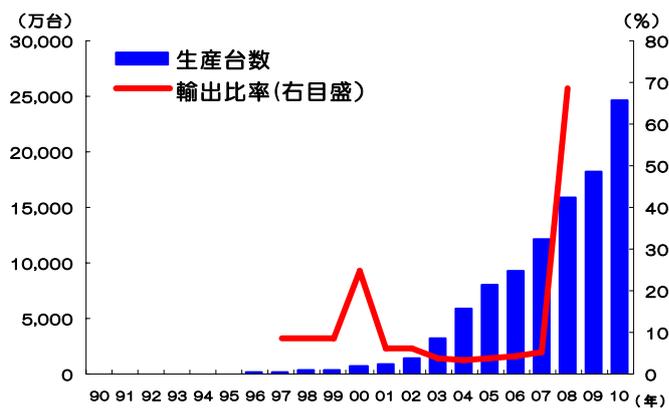


（資料）『中国統計年鑑』『海関統計』『中国統計摘要』

#### D-13 生産台数は落ち込む？

複写機についてもファックスと同じく、統計データが整合しない。統計局の工業製品生産高統計では 06 年は 467.8 万台、07 年は 452.4 万台。08 年は 584 万台生産。09 年は 420.7 万台まで落ち込むが、10 年は 537.4 万台まで回復。

図 D-14 パソコンの生産台数と輸出比率推移（年次）

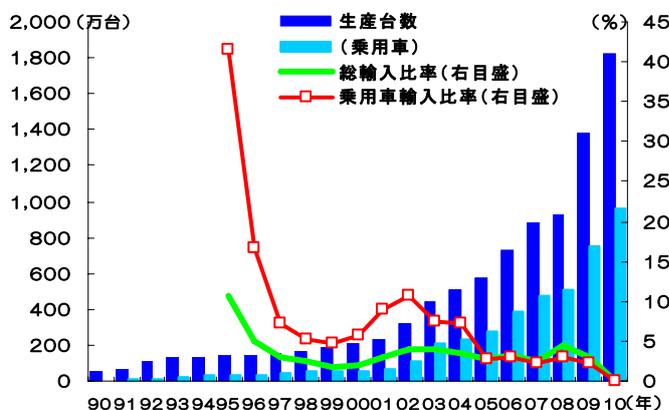


（資料）『統計公報』『海関統計』

#### D-14 パソコンも急増

パソコン生産台数も急増。2002 年は 1,464 万台、03 年 3,216 万台、05 年 8,084 万台、06 年 9,336 万台、07 年 1 億 2,073 万台。08 年の生産台数は 1 億 3,667 万台で前年比 13.2% 増加。09 年は 1 億 8,215 万台（前年比 33.3% 増）、10 年は 2 億 4,584.5 万台（前年比 35.0% 増）。通関統計では 10 年の輸出はノートブックが 19,384 万台、金額 953.3 億ドル、その他パソコンが 1,046 万台、金額 72.57 億ドルとされている。

図 D-15 自動車の生産台数と輸入車の比率推移（年次）

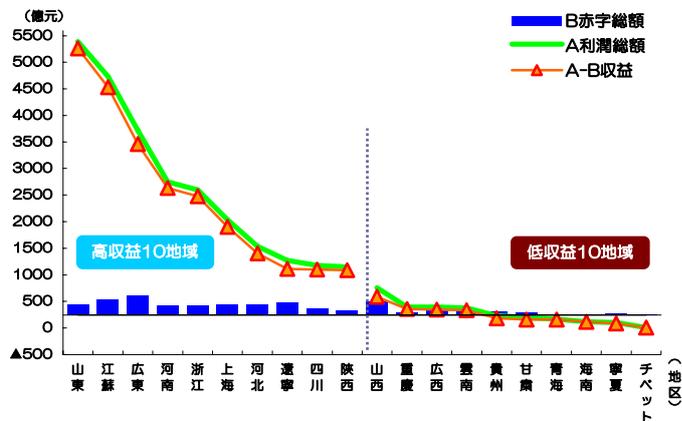


（資料）『中国統計年鑑』『海関統計』『中国統計摘要』

#### D-15 乗用車の生産販売が鈍化。

乗用車の輸入比率（輸入台数/国内生産台数）は 1996 年以降急速に低下。国内での自動車生産台数 09 年が 1,379.5 万台（前年比 47.6% 増加）、うち乗用車 748.5 万台。10 年の国内生産台数は 1,826.99 万台（32.4% 増）、うち乗用車 957.6 万台（27.9% 増）。11 年 1～4 月の国内生産台数の伸率は前年比 5.09% の伸び。4 月は▲1.85% と伸びがマイナスに。生産・販売台数とも伸率鈍化が顕著。

図 D-16 工業企業の地域別収益状況（2010年）

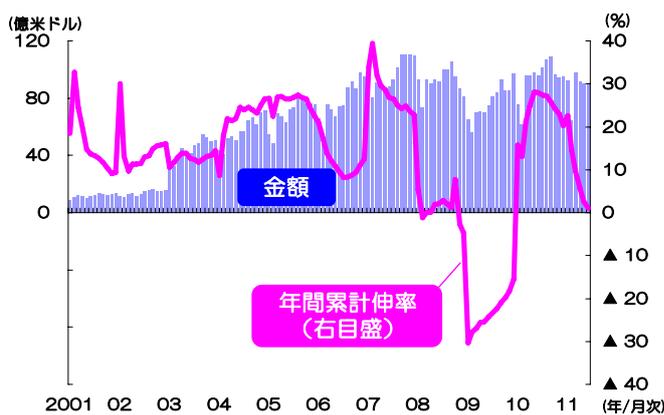


(資料) 『中国統計摘要 2011』

### D-16 工業企業の収益も地域格差

一人当たり GDP 格差と同様、工業企業（国有企業＋一定規模以上の非国有企業）の収益の地域別格差は非常に大きい。輸出型経済、石油等の資源のある地域が高収益との傾向がある。高収益企業の存在する地域では赤字企業も多い。

図 D-17 加工貿易輸出推移（来料）（月次）



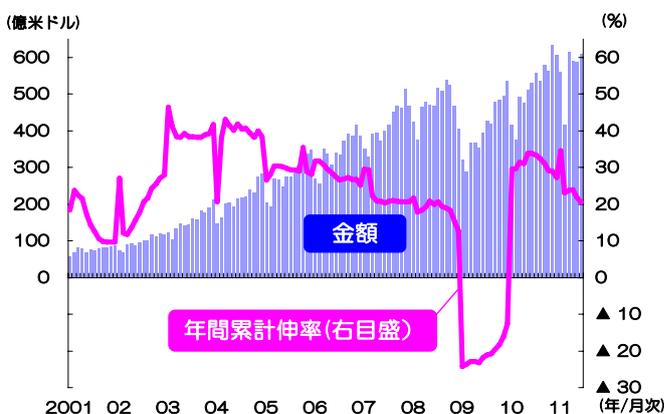
(資料) 海関総署『海関統計』

### D-17 加工貿易輸出も回復へ

来料加工とは、加工賃の決済のみで貨物代金の決済を伴わない加工貿易。主に国有企業が従事。07年8月から「加工貿易対象製品の制限強化」が実施され、その影響で前年比伸率が鈍化。来料加工の前年同月比伸率は09年1月▲30.2%、3月▲24.8%と大幅減少、12月は19.9%とプラスに転じた。09年の年間累計伸率は▲15.5%。10年は20.2%。

11年1～6月の伸率は1.1%。

図 D-18 加工貿易輸出推移（進料）（月次）



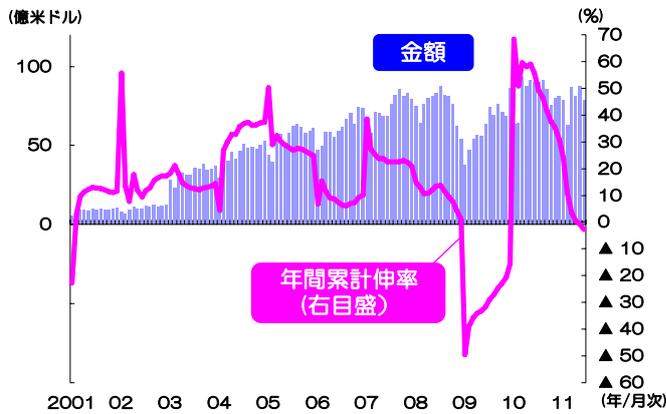
(資料) 海関総署『海関統計』

### D-18 進料加工輸出もほぼ回復

進料加工は輸出入代金の決済を伴う加工貿易。主に外資系企業が従事。08年の進料加工輸出の前年比伸率は12.6%。しかし09年は外需落ち込みの影響が大きい。進料加工の前年同月比伸率は09年1月▲24.2%、6月▲15.2%と推移、12月は32.7%と大幅にプラスとなった。09年の年間累計伸率は▲12.6%。10年は27.3%。

11年1～6月の伸率は21.5%。

図 D-19 加工貿易輸入推移（来料）（月次）

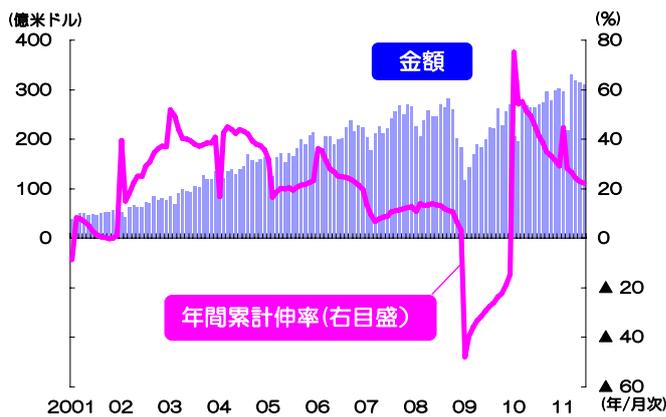


（資料）海関総署『海関統計』

#### D-19 来料加工輸入も回復傾向

2008年の来料加工と進料加工を合わせた加工貿易輸入は前年比伸率2.7%の増加。09年は1月▲49.7%、3月▲29.4%、6月▲23.8%と減少。国外受注の落込みを反映したもの。9月には▲6.2%まで減少幅は縮小し、11月は10.4%とプラスに転じ、12月では60.3%と回復傾向が鮮明に。10年の年間累計伸率は30.7%。11年1～6月の伸率は▲2.8%。

図 D-20 加工貿易輸入推移（進料）（月次）

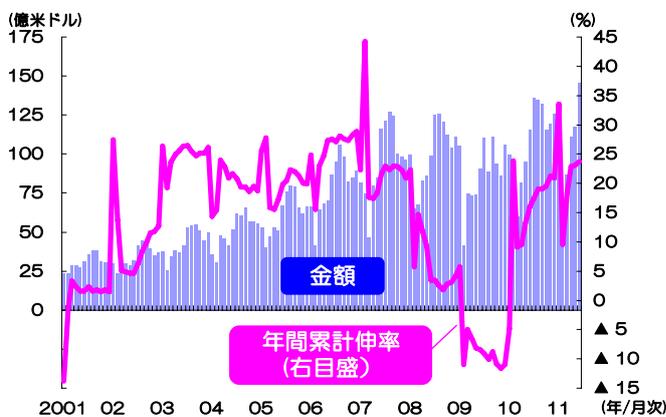


（資料）海関総署『海関統計』

#### D-20 進料加工輸入も回復傾向

2008年の進料加工輸入は2,882億ドルで前年比3.2%増加したが、12月単月では前年同月比▲31.0%と大きく減少。低賃金、低付加価値とされる加工貿易ではあるが、減少により雇用問題、地方での不景気が発生した。09年1月は▲47.9%、6月▲18.3%、9月▲7.2%と回復、11月は26.6%、12月も48.1%とプラスに転ずる。10年の年間累計伸率は29.1%。11年1～6月の伸率は22.2%。

図 D-21 衣類の輸出額推移（月次）

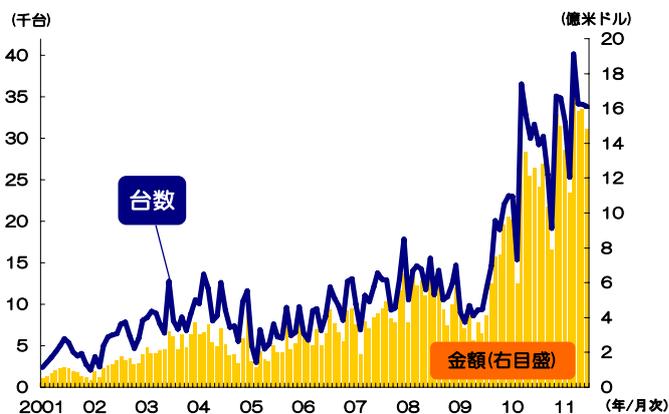


（資料）海関総署『海関統計』

#### D-21 衣料品の輸出は回復へ

2007年の衣料品の輸出額は1,150.7億ドルで年率20.9%増加。08年の輸出額は1,197.9億ドルで前年比伸率は4.1%にとどまる。アパレル繊維製品の輸出の低迷は広東、浙江、江蘇省の中小輸出企業の業況を悪化させた。09年の輸出額は1,070.5億ドルで前年比▲11.0%と輸出額が縮小。10年の年間累計伸率は20.9%増と回復に向かう。11年1～6月の伸率は23.7%。

図 D-22 乗用車の輸入推移（月次）

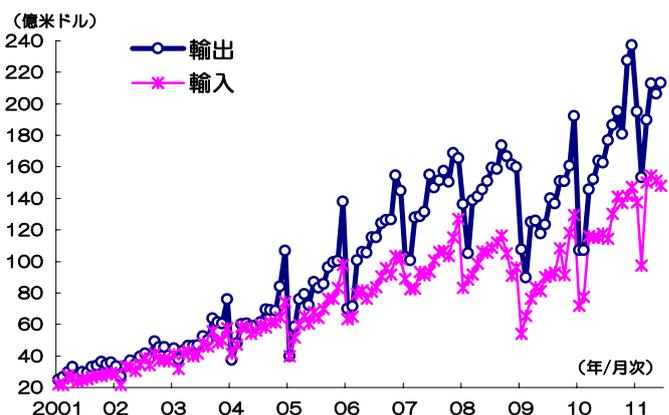


(資料) 海関総署『海関統計』

#### D-22 乗用車の輸入は再び増加へ

2010年の乗用車の輸入台数は343,653台、金額は141.47億ドルで、前年比はそれぞれ108.5%、115.5%と急増。なお四輪駆動オフロードの輸入台数が351,408台と乗用車台数を上回った。四輪駆動オフロード車の輸入金額は127.1億ドル。四輪駆動と併せて年間70万台以上の輸入がある。11年6月の乗用車輸入台数は33,811台、四駆オフロードが32,482台。

図 D-23 深圳市の輸出入額推移（月次）

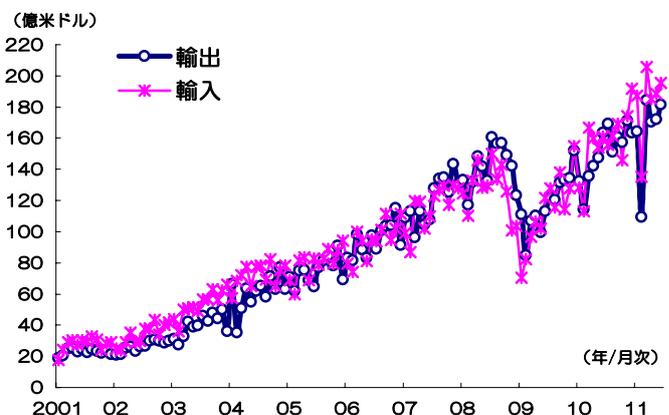


(資料) 海関総署『海関統計』

#### D-23 深圳市の貿易は回復へ

深圳は中国の輸出基地としての役割があり貿易収支では、輸出超過が続く。2009年の輸出額は1,619.7億ドル、輸入額は1,081.7億ドル、前年比ではそれぞれ▲10.6%、▲10.1%と伸率マイナスに。10年の前年比伸率は輸出が26.1%、輸入が31.8%と回復した。11年6月単月の深圳の輸出入の前年同月比伸率は輸出31.1%、輸入25.7%と高い。

図 D-24 上海市の輸出入額推移（月次）



(資料) 海関総署『海関統計』

#### D-24 上海の輸出入額は回復へ

2009年の上海市の輸出額は1,418.8億ドル、輸入額は1,358.7億ドルで、前年比ではそれぞれ▲16.1%、▲11.1%の伸び。10年の前年比伸率は輸出が27.5%、輸入が38.4%と回復、特に輸入の伸びが著しい。11年6月単月の上海の輸出入の前年同月比伸率は輸出が11.1%、輸入21.2%と高い。